

ありがとう Arigato

平成27年度 2年A組

霜月 / 4

学級通信 66 号

歌詞の意味を考えて

君の夢が一つ
叶おうとしているね
熱い思い重ねて
たどり着いた場所
ここまでの道のりが
長く厳しかったこと
たくましくなった君の
背中が教えてくれる

この日の喜びと
この日の悔しさを
忘れないように
深く胸に刻み込もう
精一杯の声を出した
この瞬間がいつかきっと
君が生きていく力に
変わる時が来るから

（略）

精一杯の汗と涙
流した数だけきつと
君が生きていく強さに
変わる時が来るから
時を越えて羽ばたいて

月曜日の5限に合唱祭のリハーサルがありました。体育館の舞台で、実際にピアノ伴奏をしてもらい本番と同じように歌いました。先生は教室でみんなの歌声を聞いているので、まだまだ声が出るなあと思いき、あまり満足しなかったのだけれど、夕方職員室でたくさんの先生から「A組、うまかったね」と言われました。彦田先生は「思わず泣いてしまった」と言ってくれました。良い歌声だったのだと思います。

ただ、これで満足してはいけません。まだまだみんなの歌声は良くなります。そのために、音楽の授業が無くてでもできる努力をしていきましょう。その1つとして、「歌詞の意味をしっかりととらえる」ということがあります。

みんなが歌う「時を越えて」は、とても感動的な歌詞の歌だと思います。一生懸命やったことが、今ではなくいつか未来で花開き、みんなの力に変わっていくという歌です。今、勉強や部活、その他いろんなことでうまくいかないことがあるだろうけれど、それも耐えてやれることを一生懸命やれば、きっとみんなにとってかけがえのないものになっていくと思います。歌詞の言葉を受け止めて、イメージをして歌えるといいですね。

フェスティバルも合唱祭で終わりです。体育祭で優勝し、文化祭でもたくさんの人にほめてもらえるような発表をすることができました。その集大成の合唱祭です。みんなの歌声だけでなく、みんなが歌う姿を見てもらうことも発表の一つだと思います。みんなは、リハーサルでもう感動を与えることができる歌を歌い、姿を見せることができるのだから、きっと本番はみんな自身が感動できる合唱祭にできると思います。

「精一杯の声を出した この瞬間がいつかきっと 君が生きていく力に 変わる時が来るから 」自分の未来のために、精一杯歌を歌うことができたらと期待しています。